令和７年度埼玉県立川口特別支援学校鳩ケ谷分校　　TEL048-452-4140

鳩ケ谷分校だより

年の終わりに

校長　山口　伸一郎

２学期の終業式、「今年の漢字」についてお話しします。毎年、１２月のはじめに日本漢字能力検定協会がはがきやインターネットで全国から「今年１年の世相や特徴を表す漢字一字」を全国から募集します。そこで最も多かった漢字一字が「今年の漢字」に選ばれ、京都清水寺でお坊さんがそれを大きく墨で書きます。ニュースや新聞でも紹介されるので、見た人も多いと思います。

それでは、生徒の皆さんそれぞれの今年は、どんな年だったでしょうか。それを漢字一字で表すとしたら、どの漢字を選びますか。ぜひ、自分自身で考え、友だちや先生、ご家族と話し合ってみてください。この一年、たいへんなことやしんどいこともあったかもしれません。一方で、１１月のロードレース大会のようにけっこうがんばれたこと、できるようになったこともきっとあるはずです。

そして、年明け、今度は「この新しい一年、どんな年にしたいか、どんなことをがんばりたいか」考え、それを表す漢字を一字選んでみてください。私自身も考えて、始業式には皆さんに説明します。

ロードレース大会

保健体育科　星　勇輔

１１月２７日（木）天候にも恵まれ、荒川彩湖公園にて第３回ロードレース大会が実施されました。保護者の皆様におかれましては、生徒の体調管理、また当日は会場にてお手伝いをしていただき心より感謝申し上げます。１学年にとっては初めての、３学年にとっては高等部生活最後のロードレース大会でした。順位を狙う生徒や完走を目指す生徒、目標は各々違い期待と不安が入り混じった大会でした。１０月から体育授業にて３０分間走を計１５回実施し、体力の向上を図りました。常々生徒たちには、「長距離走は仲間との戦いもあるが、自分との戦いでもある」と話をしていました。走りを続ける中で、「やめたい」や「歩きたい」など、様々な気持ちの変化が現れるものです。しかし、そこで諦める人ではなく、もう一度気持ちを立て直し、頑張り切れる人になってほしいと話をしました。生徒たちはまだまだ成長段階です。今回のロードレース大会を単なる学校行事にすることなく、それまでの過程や自分自身の取り組む姿勢と向き合い、今後の学校生活と社会生活に生かしてもらいたいと思います。